

研究機関名：旭川医科大学

承認番号	18292
課題名	不整脈に対するカテーテル・アブレーション治療時におけるエア－混入の評価
研究期間	倫理委員会承認日 ～ 2020年12月30日
研究の対象	2018年11月20日～2020年12月30日までに不整脈に対するカテーテル・アブレーション治療を受けた患者さん
利用する試料・情報の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 診療情報 (詳細： 診療情報より年齢、性別、診断名、治療内容、検査結果、画像診断結果、看護記録等からTIA(一過性の脳虚血発作)の有無、使用薬剤、術後のバイタル等の経過、手術記録(手術部位)等を集計 ) <input type="checkbox"/> 手術、検査等で採取した組織 (対象臓器等名： ) <input type="checkbox"/> 血液 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (頸動脈血流計データ)
研究の意義、目的	<p>この研究で、アブレーション時のエア－混入を明らかにすることにより、TIA(一過性脳虚血発作)や脳梗塞に対する課題と、RFアブレーション(高周波心筋焼却術)とクライオアブレーション(冷凍バルーン心筋焼却術)時のエア－混入の優位性を明確にすることができると予測されます。また、実際にエア－混入は間違いなくしており、サイズによって脳梗塞等の脳血管障害が起こるとされています。当院の手技でどのくらいのエア－の数とサイズかを把握することで、手技の改善も行えます。また、安全に施行できているか把握できます。</p>
研究の方法	<p>2018年11月～2020年12月までに旭川医科大学病院にてアブレーションを行っている、循環器内科のRF(高周波心筋焼却術)または、クライオアブレーション(冷凍バルーン心筋焼却術)を実施する患者さん50名(各25名)に対し、頸動脈血流計を頸動脈上の皮膚に添付し、テープで少し固定することで安定させ、空気等の有無を確認します。</p>
その他	
お問い合わせ先	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。</p> <p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</p> <p>照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：          旭川医科大学病院(緑が丘東2条1丁目1-1) 臨床工学技術部門 延藤 優太          (研究責任者) 0166-69-3538</p>